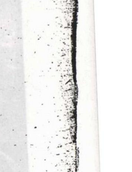
年頭のことば

留萌市議會議長　道重雄



市民の皆様、明けましておめでとうございます。

希望輝く昭和三十三年の新春を皆様と共に迎えることができましたことは誠に喜びにたえません。靜寂の大氣をふるわせて遠く消えゆく除夜の鐘に続いて明るい元旦を迎え、私共はしみじみと人生行路を振り返り、また市政の歩みを考えるとき深い感動に打たれるの顧みますと昨年は誠にあわただしい明け暮れでございました。開基八十年、市制施行十年の盛大な記念式典を催し、市民が久しく待望しておりました市營球場完成を反切りに各種の大行事が相ついで華々しく開催せられ、わが留萌市の發展ぶりを内外各地に廣く紹介されましたことは市民の皆様と共に心から喜んでおる次第であります。

また市の重要懸案事項につきましては、当市の関係者をはじめ、関係町村当局の強力な運動によって遜羽線の部分開通動となり、管内の資源開發はもとより沿岸住民の大いに益したことと思います。さらに苫別線につきましては近々これも着工の見通しでございますので、これが完成の際には留萌港の利用度は一段と飛躍し、背後地の資源開發が著しく促進されることが予想されますので、これについてはさらに強力な運動をいたしたいと思います。また船溜工事の着工、港湾施設の整備、あるいは小學校の新設がそれぞれ決定いたしまして、留萌市の諸相は財政難を克服しながらも着實に進んでいることは、これひとえに市民各位の御協力の賜であることを深く感謝いたしおります。

ニシン漁は不幸にして期待を甚大に不漁に終ったことは誠に殘念でございますが、これにかわる漁業資源の開發を漁業関係者はもとより市当局において鋭意切な對策を講立しなければならぬことを痛感いたします。また農村は豊作に恵まれ一昨年の冷害にあえいだ農家の皆さんが誠に明るい希望を見出されたことと存じます。

國際情勢は一進一退しながらも平和の方向に強く進んでおり、國内においては石橋内閣から岸内閣への交替があって、神武景氣と鍋に緊縮の方向を辿り、これは地方政治にも非常に影響を與えたわけであります。また二大政黨の確立による國政運營の正常化が叫ばれ政局の安定と共に日ソ貿易の促進、あるいは國際連合に復帰したわが國の發言も私共にとって大きな希望となったことは見逃すわけにはゆきません。

昭和三十三年は國際的にも、また國内においても多事多難が予想されるのでありますが、わが留萌市におきましてもこれに劣らぬ重要懸案事項が山積しております。職業補導所の設置、漁業振興の道路、産業組織の強化、あるいは企業の誘致等、産業振興のためにまたまた枚挙にいとまがないのであります。

期するためには全市民一丸となってあたらなければならぬことです。ここに皆様と共に住みよい郷土、大留萌市の建設のために邁進しようではありませんか。

新春にあたり市民各位の御健康と御多幸をお祈りいたしまして年頭のごあいさつといたします。

（写真は道重氏）

郵便貯金 七、〇〇〇億円に達す

日常國民に親しまれていました郵便貯金は、明治八年五月に当時の驛遞頭（今の郵政大臣）前島密が國民生活をよりよくするために創設、貯蓄思想のかん養を図ならければならないとの趣旨で始めたものであります。

当時は實越の銭はもたないということを誇りとした江戸子氣質の人が多かったため、貯金する人はほとんどいないので、郵便局は部下とともにお金を出し合って、二十銭、三十銭という金を一千名もの人々に與え、すぐ貯金として預けさせたり、あるいは貯金する人を勸誘したものには いくらかの貯金奨励費を與える等、なみ〳〵ならぬ苦勞をして奨励した結果、その年の十二月末には、預金者一、八四三人、貯金額一、二二四円にまでなったこれをもととして以来およそ八十年、年々順調に發展して今では貯金総額が七千億円を突破するまでに成長しました。

この機会に郵便貯金增加の足どりを振り返ってみますと、次のとおりです。

現在高　年別

一万円	明治　八年
一〇〇〃	一〇年
一〇〇〇〃	一五年
一〇〇〇〇〃	一九年
一億〃	明治四一年
一〇〇〇〇〃	大正一二年
一〇〇〇〇〃	昭和　七〃
二〇〇〇〇〃	二四〃
三〇〇〇〇〃	二七〃
四〇〇〇〇〃	二八〃
五〇〇〇〇〃	二九〃
六〇〇〇〇〃	三〇〃
七〇〇〇〇〃	三一〃
〃	三二〃

總過年數

右の數字が示すように二七年以降は毎年一万人当りにしてみますと、約七千八百円であるが、この額は現在の貨幣價値等から考えてみても、私達の生活をよりよくするにはまだ〳〵不足ではないかと思われます。

私達の楽しい生活設計のため、且つ又、豊かな国土をつくるため一層貯金にはげみたいものであります。

資金運用部えいたん入れてから、国家財政資金となって地方公共團体え貸出されたり、あるいは重要産業等の振興資金となって役立てられております。我が国の現狀から見て、今後国の建設等經濟發展に役立てられますが、強くなるものです。まだ〳〵貯金をふやさなければなりません。

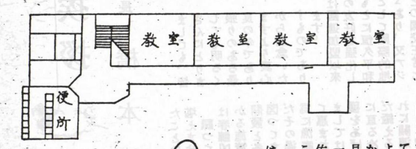
郵貯総額七千億円を國民一人当りにしてみますと、約七千八百円であるが、この額は現在の貨幣價値等から考えてみても、私達の生活をよりよくするにはまだ〳〵不足ではないかと思われます。

私達の楽しい生活設計のため、且つ又、豊かな国土をつくるため一層貯金にはげみたいものであります。

千鳥町に小學校新築

ブロック造りの二階建

千鳥町小学校（仮称）新築予定平面図



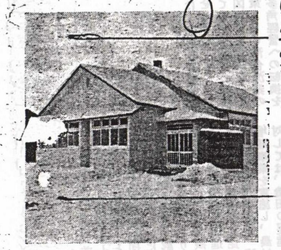
全市の父兄から熱望されておりました小學校の新設は、超過九百五十万円の許可があり、敷地も市議会で千鳥町高等學校と自衛隊と共に決定され、以来自衛隊の協力の下に整地を進めておりましたが、いよいよ建築にとりかかることになり、先月十一日入札の結果一千百九十八万円で佐藤工務所が請負うことになりました。

この學校は留萌ではじめてのブロック造りの二階建の立派な建築で内部は次のようになります。

ブロック造りの部分

一階　教室（三）	八坪
職員室（一）	二七坪
二階　教室（三）	八坪
管楽室（一）	一六坪
木造の部分	
便所　一五坪	
小使室、石炭庫　二二坪	
診療室	三坪
藥局	四、三坪
事務室	四、五坪
待合室	二、五坪
レントゲン室	二、五坪
假入院室（二室）	六坪

元町診療所が完成しました



写真は完成した元町診療所

昨年六月に假診療所が設けられて以来、元町以北の皆さんから大變待たれておりました國民健康保險元町診療所が先月十五日完成しました。

この診療所は昨年十月十五日興北建設株式会社によって着工し、坪數四四、二四坪、工費一七万五千円を要しました。

建物の内部は次のようになってゐます。

診療室	八坪
藥局	三坪
事務室	四、三坪
待合室	四、五坪
假入院室（二室）	六坪

現在國民健康保險東病院の黒川醫師が主任醫師として毎日午前中診療しておりますが、近い將來に醫師の常置とレントゲンの購入を實現して本診療所を充實していく方針です。

成人者を祝福しよう

一月十五日成人式

本年成人を迎える皆さんおめでとう。

「成人の日」は毎年一月十五日を以て祭日として迎えることになりました。この成人自覚し、自己生活設こうする青年を強い願望す一趣旨により自立日本建設の中核となるべき青年男女が成人となった栄誉と重責を認識し、各自の身を強健にすると共に、豊かな教養と厚い知識を身につけ、自主的協力的に行動するよう國民挙って激勵親睦する記念すべき日であります。

本市においきましてもこの趣旨にしたがい左記に成人式を挙行いたしますがこの行事は全國的に展開されるので、市民の皆様多數御來臨の上成人者を御祝福下さる様お願い申上げます。

記

一、日時　一月一五日（成人の日）午前九時

二、場所　留萌市公民館

三、行事

（一）式典

（二）記念講演　講師留萌市公明選擧推進協議会

（三）新入學児童のお知らせ

市教育委員会と各小學校では本年の新入學児童を調査しております。新入生のおる家でまだ住民登録のしていない家庭と學校から調査用紙のこない家庭では至急市教育委員会又は各通學区域の學校に申し出て下さい。新入學児童は昭和二十六年四月二日から昭和二十七年四月一日までに生れた者です

賀正　昭和33年　1958

天塩鉄道株式會社　取締役社長　猪方勇

原田木材株式會社　取締役社長　原田栄一　事務取締役　高見武雄　常務取締役　堀田三郎

留萌市明元町五丁目　岡田鉄工所　岡田安也

留萌市栄町一丁目　空知木材産業株式會社　取締役社長　坂田正一　事務取締役　室田輝成

留萌市明元町三丁目　留萌機船底曳網漁業協同組合　組合長理事　加地民藏

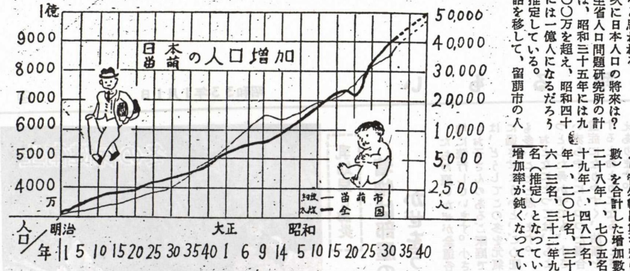
留萌市幸町三丁目　留萌建設協會　會長　堀松爲春

明治鉱業株式会社特約店　旭川石炭株式會社　留萌支店　支店長　阿部清一

留萌市幸町三丁目　道北塩業株式會社　留萌營業所

八年後の日本人口一億

留萌の人口は？



昭和三十年十月一日に行われた国勢調査の結果、日本の総人口は九二七万五五二九人と総理府統計局より發表されている。

明治のはじめからみると二倍半以上の増加になることは図（太線）によって判る。この図で目立つことは昭和十七年頃から昭和二十年にかけての減少であろう「奮め上げ」との政府のかけ聲はよかったが、脆六豆に悲鳴という腹ペコの親から、立派な子供が產れようはずはなく、ために人口の自然增加率も高くはなかったのであろうし、更に太平洋戦爭のために戦死や戦災死した八五万五千人も、右の原因になっていると思われる。

次に日本人口の將來は？厚生省人口問題研究所の計算は、昭和三十五年には九五〇〇万を超え、昭和四十年には一億人になるだろうと推定している。

留萌市の人口についてみると、明治十一年には六六七人だったが三十二年十一月末には三九五二九人と総理府統計局より發表されている。

昭和三十年頃迄は、留萌市の人口は図（細線）によって判る。この図で目立つことは昭和十七年頃から昭和二十年にかけての減少であろう「奮め上げ」との政府のかけ聲はよかったが、脆六豆に悲鳴という腹ペコの親から、立派な子供が產れようはずはなく、ために人口の自然增加率も高くはなかったのであろうし、更に太平洋戦爭のために戦死や戦災死した八五万五千人も、右の原因になっていると思われる。

次に日本人口の將來は？厚生省人口問題研究所の計算は、昭和三十五年には九五〇〇万を超え、昭和四十年には一億人になるだろうと推定している。

留萌市の人口についてみると、明治十一年には六六七人だったが三十二年十一月末には三九五二九人と総理府統計局より發表されている。

明治のはじめからみると二倍半以上の増加になることは図（太